

昭和二十八年年度の経済白書が発表されたが、昨年中を通じての日本経済の最も著しい特徴の一つは、輸出と輸入とのバランスがとれていないというところである。即ち、輸出が極く少ないのに対して、輸入が極めて多く、金がどんどん外国に流れてゆくことである。たゞでも貧乏な筈の日本の国から、こんなに沢山の金が外国に出ていってしまったら、日本の国の財布はどうなってしまうのだろうか、私共経済の専門から縁遠いものも心配せざるを得ない。天然資源の貧弱な日本の国としては、どうしても買わなければならないものも沢山ある。食料も足りないし、衣服の原料繊維も、石油も、鉄鉱石も、こういう原料を買わないことには産業が成り立たないわけであろうが、又これらのものを加工して逆に輸出することも出来るわけである。ところが、現在外国から買っているものは、まだいろいろある。自動車

編集後記

とか、靴とか、万年筆とか、その他、デパートに行つて気をつけて見ると一杯ある。日本製品を買えば、日本の職人にお金を払うことになるのに、どうして外国の職人にお金を払うことばかり考えるのだらう。ドイツに行つた日本の留学生がパーカーでノートをとつていたら、君は何故日本の万年筆を使わないのか、と云われて返答に困つたそうである。フランスの市をキヤデラックが走つていると、皆が寄つてきて見るそうである。借金ばかりどんどん増えてゆく日本の国、そうして人口がどんどんふえて、失業者が増えて、就学難、就職難のきびしくなる日本の社会。舶来上等の思想もいゝ加減にして、私達の社会の足もとを見つめてゆらかなければ、今にどんなことになるか分らない。私達、皆が力を合せて、私達自身の社会を良くするように努力しよう。

幼児の教育 第五十三巻 第十号

定価金五十円

昭和二十九年 九月二十五日印刷
昭和二十九年 十月 一 日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉 橋 惣 三
発行者

東京都文京区大塚町三十五
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町二ノ五
発売所 株式会社 フレーベル館
振替口座東京一九六四〇番

○本誌御購読についての御注文は発売所
フレーベル館にお願い致します。